

## ②活用の状況について

同校では、幼稚部在籍児が、iPad で、マルチメディア DAISY の絵本を教室で読むこと、小学部や中学部の児童生徒が図書館で、前述のように1作品1CDとして整備されているマルチメディア DAISY の絵本や図鑑等を、自ら選んで読むこと等をしている。小学部では、低学年の国語での読書の時間でも活用している。

その他、前述のように、「マルチメディア DAISY 教科書」の使用もされている。

なお、近隣の特別支援学級で読みに困難のある児童への支援として、その特別支援学級に、同校のマルチメディア DAISY 図書の貸し出しも行っているとのことである。

こうしたマルチメディア DAISY の活用においては、文字を適切に拡大して見ることができるとともに、図鑑等では、図版を任意の大きさに拡大して、特定の部分の詳細を知ることが可能であり、弱視の児童生徒等にとって有効とのことである。また、拡大読書器による読書では、拡大すると、図版等は印刷物なので画像が粗くなるが、マルチメディア DAISY のように、データとして図版を拡大する場合は画像がきれいなままであるので見やすく、有効とのことである。なお、児童生徒等によっては、iPad でのマルチメディア DAISY の再生において、図版を画面いっぱい拡大してから、そのページの画像を保存して、そのうえで見たい部分をさらに拡大などして見るという使い方もしているとのことである。

※ 本事例（特別支援教育教材ポータルサイト掲載事例）は、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所「B-291 特別支援学校（視覚障害）における教材・教具の活用及び情報の共有化に関する研究—ICTの役割を重視しながら—」（平成26年3月）、121-122に記載された内容である。